

会計名			準用河川草野川改修事業				担当部	水資源部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	工務係		
8	3	2								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	河川・池沼							
		施策の内容	河川の改修							
	目的	流域内の宅地化が進み雨水流出量が増加したため、河川改修を行い浸水被害の解消を図るとともに、魚類・昆虫類等の自然とのふれあいを可能とする河川空間を創造する。				主たる内容	○河川延長 504m ・河川改修延長 504m ・調整池整備 2箇所			
	位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン・境川猿渡川流域水害対策計画							
		根拠法令	河川法・特定都市河川浸水被害対策法							
		対象者	市民			事業期間	平成6年度～平成37年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O A 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・河川改修工事 工事延長 54m 護岸工 107m ・設計 河川実施設計 120m 地質調査 4箇所 調整池予備設計 2箇所		・河川改修工事 工事延長 74m 護岸工 116m 橋りょう工 1箇所 ・設計 調整池実施設計 1箇所		・河川改修工事 工事延長 57m 護岸工 56m 階段工 1箇所 樋管工 1箇所 横越流堰工 30m		・河川改修工事 工事延長 83m 護岸工 258m 取付護岸工 1箇所 重力式護岸工 1箇所 ・設計 河川実施設計 1箇所		
成果		・改修計画に基づき河川改修工事を延長57mの区間で実施した。								
課題		・関連事業の主要地方道名古屋岡崎線整備事業及び西境地区土地改良事業と引き続き協議調整を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
活動指標	河川改修率（％）	27年度	28年度	29年度	30年度	32年度				
指標		54.4	63.9	75.2	92.5	100				
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費①		139,156	145,654	158,811	234,565	合計	158,810,932 円		
	財源	特定財源	35,000	28,200	96,200	97,500	需用費	27,200 円		
		一般財源	104,156	117,454	62,611	137,065	委託料	429,915 円		
	職員人件費②		2,820	3,986	7,057	5,694	工事請負費	108,441,720 円		
	総事業費（①+②）		141,976	149,640	165,868	240,259	公有財産購入費	49,912,097 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		準用河川改修事業費補助金（県）						
31年度以降の事業費見込		0		準用河川草野川改修事業債						

会計名			準用河川草野川改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	浸水被害解消のため、早急に河川改修を実施する必要がある。また、現河川の一部が県道名古屋岡崎線の整備区域となるため、この事業に合わせて改修する必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	河川の流下能力を向上させるには河道を拡幅する手法が最適であり、限られた用地内で経済性を考慮した改修に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	準用河川草野川の管理者は市であることから、市で実施することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	浸水被害の解消を図ることにより、市民の安心安全に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
草野池の農業用利水関係者や、今後、工事区間が重複する県道名古屋岡崎線の事業主体の県と調整を図りながら、改修計画に基づき事業の進捗を図る。					

会計名 一般会計			熊排水機場樋管改修事業				担当部	水資源部	
款	項	目					担当課	雨水対策課	
6	1	5					担当係	工務係	
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	治水・雨水対策						
	目的	老朽化が進んでいる熊排水機場の排水樋管を改修し、排水機場の機能を改善する。				主たる内容	○工事延長 145m ○樋門工 1基 ○排水樋管工 B1,800×H1,300 114m ○吐水槽工 1基 ○既設樋管撤去工		
	位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン・境川猿渡川流域水害対策計画						
		根拠法令	河川法・特定都市河川浸水被害対策法						
		対象者	市民			事業期間	平成20年度～平成29年度		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・樋管改修工事（県発注、負担金） 樋門工 排水樋管工 16m 護岸工 既設樋管撤去工		（H27繰越分） ・樋管改修工事（県発注、負担金） 樋門工 排水樋管工 16m 護岸工 既設樋管撤去工		・樋管改修工事 排水樋管工 98m 接続柵工 扉室工		_____	
成果		熊排水機場の樋管を改修し、排水機場の機能を改善することにより、治水安全度を向上させることができた。							
課題									
指標名称（単位）		実績値			目標値				
活動指標	改修率（％）	27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
指標		—	24.8	100.0	—	—			
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		23,342	31,351	96,846	0	合計	96,845,760 円	
	財源	特定財源	0	31,351	0	0	工事請負費	96,845,760 円	
		一般財源	23,342	0	96,846	0			
	職員人件費 ②		1,254	938	3,179	0			
	総事業費（①+②）		24,596	32,289	100,025	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			熊排水機場樋管改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
6	1	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 			
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 			
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 			
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 			
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成29年度に工事が完了し、事業完了した。					

会計名			排水機場改修事業				担当部	水資源部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	施設管理係	
8	3	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	治水・雨水対策						
	目的	排水機場の機械設備等を改修し、常に安定した排水能力を保持するとともに、長寿命化を図り、浸水被害を防止する。			主たる内容	排水機場の機器の更新やポンプの分解整備等を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・北浦排水機場 自家発電機更新 ・浜田第1排水機場 電源切替盤等更新		・北浦排水機場 2号エンジン更新 ・浜田第1排水機場 5号エンジン分解整備		・弁天第2排水機場 運転支援装置更新		・北浦排水機場 流入・流出ゲート等整備 ・天王排水機場 ポンプ分解整備 ・浜田第1排水機場 3-6号ポンプ機側盤更新 4号エンジン分解整備	
成果		・弁天第2排水機場の運転支援装置を更新したことにより、安定した排水機場の運転が可能となり、浸水被害を防止できた。							
課題		・今後も計画的かつ効率的にポンプ等の分解整備を実施していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標	改修ポンプ数（基）		—	2	—	2	1		
活動指標	改修排水機場数（箇所）		2	2	1	3	2		
他市との比較検証	「排水機場維持管理計画」に基づき、近隣市と同等の経過年数15年を目処に実施している。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		96,120	98,249	41,256	85,000	合計	41,256,000 円	
	財源	特定財源	45,366	41,898	40,811	41,280	工事請負費	41,256,000 円	
		一般財源	50,754	56,351	445	43,720			
	職員人件費 ②		2,820	2,345	2,714	2,730			
	総事業費（①+②）		98,940	100,594	43,970	87,730			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		市町村振興協会基金交付金					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			排水機場改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	施設管理係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	本市の河川沿線は雨水の自然排水が困難な地域(低地)が多いため、雨水排水を目的とした排水機場が不可欠である。そのため、排水機場は常に万全な状態に整備しておく必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	排水機場の新設・更新には、用地の確保も含め相当の時間と費用がかかる。必要最小限の改修により機能を確保することで、コストの縮減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	排水機場という施設の特殊性を考えると、市が主体となって実施すべきである。総合計画に、既成市街地の浸水被害を防ぐため、排水機能の向上を図ることが目的として掲げられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	総合計画との整合性から、市民の生命・財産を浸水被害から守るべく排水機能向上に寄与する事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・点検結果を更新計画に反映したのち耐用年数を考慮して、ポンプ等機器の取替及び施設の更新を図る必要がある。					

会計名			県営たん水防除事業（前新田地区）				担当部	水資源部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	施設管理係	
6	1	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	農業						
		施策の内容	生産基盤の強化						
	目的	農業用排水機場等の改修を行い、恒久的なたん水防除対策を図る。			主たる内容	排水機場（前新田）の建替えを行う。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令	土地改良事業法							
	対象者	市民		事業期間	平成27年度～平成34年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
・前新田地区法手続業務委託		・前新田地区たん水防除事業負担金 設計委託		・前新田地区たん水防除事業負担金 用地買収 設計委託 下部工（基礎杭） ポンプ設備（工場製作）		・前新田地区たん水防除事業負担金 下部工（ポンプ井、前池） ポンプ設備（工場製作） 設計委託			
成果		排水機場の建設工事に着手し、県営事業の事業進捗が図れた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		進捗率（％）			0.3	5.9	22.5	36.7	91.3
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		486	7,938	23,636	20,100	合計 23,635,854 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 23,635,854 円		
		一般財源	486	7,938	23,636	20,100			
	職員人件費②		1,254	1,172	1,163	1,560			
	総事業費（①+②）		1,740	9,110	24,799	21,660			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			県営たん水防除事業（前新田地区）	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	施設管理係
6	1	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	老朽化した施設を更新することにより、浸水被害を軽減させることができるため、市民生活の安全性が高まる事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	補助制度を活用し、市の負担軽減を図り、事業進捗や経済性が高く効率的な事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	県営事業であるが、土地改良事業であることから、合意のもと進める必要があり、市が主体となって調整を行い、事業の進捗を図る必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	早期に整備を行うことにより、市民サービスの向上に大きく貢献できる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	・早期完了に向けて、施行者である愛知県と綿密な打合せを行う。				

会計名			河川施設等補修事業				担当部	水資源部			
一般会計							担当課	雨水対策課			
款	項	目					担当係	施設管理係			
8	3	1									
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	河川・池沼								
		施策の内容	河川の改修								
	目的	排水機場と排水路の排水能力の保持及び衛生面の向上を図り、浸水被害の防止や、市民生活の安全性を確保する。				主たる内容	準用河川や排水路、排水機場の浚渫と、準用河川や排水路の緊急修繕、排水機場や樋門などの補修工事を行う。				
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令									
		対象者	市民			事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画			
		<ul style="list-style-type: none"> 準用河川八角川ほか3河川の浚渫工事 竜ヶ根排水路ほか9排水路の浚渫工事、昭山内排水路ほか9排水路等の補修工事 北浦排水機場ほか1排水機場の浚渫工事、天王排水機場ほか2排水機場の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 準用河川薬師川ほか3河川の浚渫工事、準用河川吹戸川ほか3河川の補修工事 上池排水路ほか15排水路の浚渫工事、半崎内排水路ほか3排水路の補修工事 浜田第1排水機場の浚渫工事、新馬瀬口排水機場ほか6排水機場の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 準用河川薬師川ほか1河川の浚渫工事、準用河川弁天川ほか4河川の補修工事 桜島内排水路ほか21排水路の浚渫工事、後口田内排水路ほか13排水路の補修工事 浜田第1排水機場ほか7排水機場の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 準用河川の浚渫工事 準用河川の補修工事 排水路の浚渫工事 排水路の補修工事 排水機場の修繕 			
成果		・河川施設（準用河川、排水路、排水機場）の浚渫工事を計画的に実施したことや、地区からの苦情、要望箇所について迅速に補修工事を実施したことにより、本来の排水機能が回復した。									
課題		・浚渫について計画的に執行しているが、本来なら施行すべき区間、箇所、回数を十分に履行できない状況も発生してきている。また、施設の老朽化に伴い補修費が増加する可能性がある。 ・河川パトロールによる施設の点検結果に基づいた補修工事を計画的に施工する必要がある。									
指標名称（単位）					実績値		目標値				
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		42,601	62,290	52,336	38,000	合計	52,335,936 円			
	財源	特定財源	4,884	4,991	5,057	5,013	需用費	7,701,696 円			
		一般財源	37,717	57,299	47,279	32,987	工事請負費	44,634,240 円			
	職員人件費 ②		5,562	7,815	6,979	7,799					
	総事業費（①+②）		48,163	70,105	59,315	45,799					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	29年度特定財源名称					
29年度までの累積事業費			0	河川占用料							
31年度以降の事業費見込			0								

会計名			雨水貯留浸透施設設置補助事業				担当部	水資源部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	計画係	
8	3	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	治水・雨水対策						
	目的	雨水貯留浸透施設の設置者に対し、補助金を交付することにより、設置件数の増加を図る。			主たる内容	定めた額と設置費用の2/3のいずれか低い額を補助する。なお、補助金の上限は、一団の土地につき20万円まで。 ○補助対象施設は下記のとおり。 雨水貯留施設（2基まで） 雨水浸透ます 雨水浸透管 雨水浸透側溝 透水性舗装			
	位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン						
			根拠法令	刈谷市雨水貯留浸透施設設置事業補助金交付要綱					
			対象者	市民、事業者	事業期間	平成16年度～			
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	B 事業 D 実績 O 計画 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・設置件数 11件 （雨水貯留施設9件、透水性舗装2件） ・補助金額 444,400円		・設置件数 13件 （雨水貯留施設11件、透水性舗装2件） ・補助金額 600,600円		・設置件数 12件 （雨水貯留施設11件、透水性舗装1件） ・補助金額 475,000円		・設置件数 25件	
成果		平成29年度新たに12件の雨水貯留施設が設置されたことにより、雨水流出抑制効果が得られた。							
課題		ホームページ、市民だより、出前講座等でPRを行っているが、設置件数は減少傾向にある。雨水貯留施設設置の啓発活動や制度改正の検討を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標	雨水貯留浸透施設の年間設置数（件）			11	13	12	25	30	
指標									
他市との比較検証	・雨水貯留浸透施設の補助金額は、補助率と上限額を比較して、低い額を支給している。 市名 安城市 知立市 高浜市 刈谷市 補助率（設置費用を対象） 1/2 2/3 1/2 2/3 補助額（200Lタンク） 25,000円 25,000円 22,000円 25,000円								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		444	601	475	1,250	合計	475,000円	
	財源	特定財源	85	110	130	237	負担金、補助及び交付金	475,000円	
		一般財源	359	491	345	1,013			
	職員人件費②		4,309	3,908	2,792	2,808			
	総事業費（①+②）		4,753	4,509	3,267	4,058			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金（国）					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			河川施設等管理事業				担当部	水資源部			
一般会計							担当課	雨水対策課			
款	項	目					担当係	施設管理係			
8	3	1									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	河川・池沼								
		施策の内容	治水・雨水対策								
	目的	浸水被害を防止するため、排水機場などの河川施設の適正な維持管理を図り、市民生活の向上及び安定を図る。				主たる内容	排水機場などの河川施設を常に安全かつ適正に稼動・運用できるように保守管理を行う。				
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令									
		対象者	市民			事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画			
		<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場、樋門・汲み上げポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理、清掃、電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託 		<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場、樋門・汲み上げポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理、清掃、電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託 		<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場、樋門・汲み上げポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理、清掃、電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託 		<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場、樋門・汲み上げポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理、清掃、電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託 			
成果		・計画的に保守点検等を実施したことで、施設及び機械設備の円滑な維持管理が図れた。									
課題											
指標名称（単位）					実績値			目標値			
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		65,718	70,057	71,272	84,380	合計	71,272,027 円			
	財源	特定財源	3,567	3,735	3,509	3,389	報償費	1,072,516 円			
		一般財源	62,151	66,322	67,763	80,991	需用費	12,523,440 円			
	職員人件費 ②		5,954	5,080	5,428	5,070	役務費	20,129,232 円			
	総事業費（①+②）		71,672	75,137	76,700	89,450	委託料	37,510,443 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称					
29年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料							
31年度以降の事業費見込		0		市町村権限移譲交付金（県） 排水機場維持管理受託収入							

会計名			農業用施設等管理事業				担当部	水資源部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	施設管理係		
6	1	5								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興			主たる内容	農業用排水機場などの施設を常に安全かつ適正に稼働・運用できるように保守管理を行う。			
		基本施策	農業							
		施策の内容	生産基盤の強化							
	目的	湛水被害を防止するため、農業用排水機場などの施設の維持管理を図り、農業生産性の向上及び安定を図る。								
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気、水道、電話料 施設修繕料、火災保険料 排水機場の点検、検査手数料、運転保守管理、清掃、電気保安業務委託料 排水路除草委託料 		<ul style="list-style-type: none"> 排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気、水道、電話料 施設修繕料、火災保険料 排水機場の点検、検査手数料、運転保守管理、清掃、電気保安業務委託料 排水路除草委託料 		<ul style="list-style-type: none"> 排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気、水道、電話料 施設修繕料、火災保険料 排水機場の点検、検査手数料、運転保守管理、清掃、電気保安業務委託料 排水路除草委託料 		<ul style="list-style-type: none"> 排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気、水道、電話料 施設修繕料、火災保険料 排水機場の点検、検査手数料、運転保守管理、清掃、電気保安業務委託料 排水路除草委託料 		
成果		・計画的に保守点検等を実施したことで、施設及び機械設備の円滑な維持管理が図れた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		33,400	31,771	34,021	35,751	合計	34,020,894 円		
	財源	特定財源	12,392	12,668	12,836	12,562	需用費	12,656,128 円		
		一般財源	21,008	19,103	21,185	23,189	役務費	10,073,208 円		
	職員人件費 ②		6,346	5,080	5,040	4,290	委託料	11,241,918 円		
	総事業費（①+②）		39,746	36,851	39,061	40,041	原材料費	49,640 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 農業用排水機維持管理費補助金（県）						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			農業用施設等補修事業				担当部	水資源部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	施設管理係	
6	1	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	農業						
		施策の内容	生産基盤の強化						
	目的	浸水被害を防止するため、農業用排水機場などの施設の適正な維持管理を図り、市民生活の向上及び安定を図る。			主たる内容	農業用排水機場や農業用排水路の浚渫と、農業用排水機場の補修工事や農業用排水路の緊急修繕を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路の浚渫工事 中前田排水路ほか9排水路 農業用排水機場の浚渫工事 高須排水機場 農業用排水路の補修工事 中川排水路ほか2排水路 農業用排水機場の修繕 今川排水機場ほか7排水機場 		<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路の浚渫工事 発杭川排水路ほか14排水路 農業用排水機場の浚渫工事 重原排水機場ほか2排水機場 農業用排水路の補修工事 折戸川排水路ほか3排水路 農業用排水機場の修繕 井ヶ谷排水機場ほか9排水機場 		<ul style="list-style-type: none"> 発杭川排水路ほか4排水路の浚渫工事、発杭2号排水路ほか3排水路の補修工事 九郎兵衛排水機場の浚渫工事、泉田排水機場ほか7排水機場の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路の浚渫工事 農業用排水機場の浚渫工事 農業用排水路の補修工事 農業用排水機場の修繕 	
成果		・農業用排水機場及び農業用排水路の浚渫を計画的に実施したことや、迅速に補修工事を実施したことにより、本来の排水機能が回復した。							
課題		・施設の老朽化に伴い補修費が増加する可能性がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		26,840	21,362	18,079	17,000	合計	18,079,200 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	5,907,600 円	
		一般財源	26,840	21,362	18,079	17,000	工事請負費	12,171,600 円	
	職員人件費 ②		5,562	3,517	5,040	4,680			
	総事業費（①+②）		32,402	24,879	23,119	21,680			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			農業用施設整備事業				担当部	水資源部	
款	項	目					担当課	雨水対策課	
6	1	5	担当係		施設管理係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	農業						
		施策の内容	生産基盤の強化						
	目的	農業用排水機場を改修し、その機能保持と性能の向上及び耐用年数を確保することにより、浸水被害の解消を図る。			主たる内容		土地改良施設維持管理適正化事業の助成制度を活用して、農業用排水機場の実施設計及び排水ポンプなどの主要部品分解整備や改修を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 前新田（旧）排水機場水中ポンプ更新 1基 井ヶ谷・泉田・弁天排水機場の実施設計 井ヶ谷・泉田排水機場の除塵機補修、弁天排水機場の鉛蓄電池交換などの改修工事 適正化事業拠出金（負担金） 		<ul style="list-style-type: none"> 馬瀬口、九郎兵衛、弁天排水機場の実施設計 馬瀬口排水機場の制御盤、九郎兵衛排水機場の引込盤、弁天排水機場の水位計などの改修工事 適正化事業拠出金（負担金） 		<ul style="list-style-type: none"> 九郎兵衛、泉田排水機場の実施設計 九郎兵衛排水機場の除塵機整備の改修工事 適正化事業拠出金（負担金） 		<ul style="list-style-type: none"> 井ヶ谷、弁天、中市流作新田排水機場の実施設計 弁天排水機場の操作盤、中市流作新田排水機場の真空ポンプなどの改修工事 適正化事業拠出金（負担金） 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 九郎兵衛排水機場の除塵機設備を整備したことにより、非常時においても万全の状態でご各設備が機能できるようになった。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 整備計画に沿って執行できているが、今後も計画的かつ効率的にポンプ等の分解整備を実施していく必要がある。 							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標	改修ポンプ数（基）	1	—	—	1	—			
活動指標	改修排水機場数（箇所）	4	3	1	4	1			
他市との比較検証	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市と同等の経過年数15年を目処に実施している。 								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①	29,057	60,468	25,505	30,779	合計	25,505,100 円		
	財源	特定財源	10,800	15,300	12,150	13,500	委託料	1,674,000 円	
		一般財源	18,257	45,168	13,355	17,279	工事請負費	17,625,600 円	
	職員人件費 ②	3,996	3,126	3,490	2,730	負担金、補助及び交付金	6,205,500 円		
	総事業費（①+②）	33,053	63,594	28,995	33,509				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		土地改良施設維持管理適正化事業費交付金					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名		雨量観測システム管理事業				担当部	水資源部		
一般会計						担当課	雨水対策課		
款	項					目	担当係	工務係	
9	1					4			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防災						
		施策の内容	防災体制の充実						
	目的	降雨量等を市のホームページで公開している雨量観測システムの安定的な運用を図る。		主たる内容	○雨量計機器保守管理 ○雨量観測システム保守管理				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	平成25年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 雨量計他機器保守管理委託 雨量観測システム保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 雨量計他機器保守管理委託 雨量観測システム保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 雨量計他機器保守管理委託 雨量観測システム保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 雨量計他機器保守管理委託 雨量観測システム保守管理委託 雨量計更新工事 	
成果		・トラブルなく安定した管理運用ができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,939	3,101	3,101	3,609	合計	3,100,788 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,255,040 円	
		一般財源	2,939	3,101	3,101	3,609	使用料及び賃借料	845,748 円	
	職員人件費 ②		862	1,250	1,241	1,404			
	総事業費（①+②）		3,801	4,351	4,342	5,013			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							